

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココからラボ市原八幡教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	送迎時に少しの変化や出来たことをお話をする機会を設けています。保護者様からも家での様子や変化をお聞きし、支援の参考しています。	送迎に行く職員を増やし、色々な視点からお話しできるようにします。
2	こどもは安心感をもって通所していますか。こどもは通所を楽しみにしていますか。	こども園や幼稚園より「楽しい」と言ってもらえています。楽しいことは全力で楽しみ、やる時は集中してやるとメリハリをはっきりさせています。注意する先生と一緒に遊ぶ先生の役割もはっきりさせて、関係性もわかりやすくしています。	来年度から数名、小学生に進学されます。小学生に慣れる事が最優先になる為、疲れや気持ちが不安定になることが予想されます。ラボでは変化や様子を見守りながら居心地の良い教室環境を作ります。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	イベントや行事、活動内容をSNSやブログ、HPに掲載したり、SNSを活用し保護者様と連絡を取り、お仕事をされている保護者様が楽に連絡を取れる環境を設定しています。	現在、公式LINEを作成に動いていて、イベントのお知らせや情報を配信しようと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	研修は任意参加にしている為、参加している職員と参加していない職員にばらつきがあります。研修で学んだことや委員会を開催した際に、まとめた物や口頭で参加していない職員に伝える機会を設けています。	研修の参加可否は任意のままで強制はしませんが、積極的に参加してもらえるように促したり、短時間でも出れるようにスケジュールリングを組んでいきます。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	令和6年度は、親子イベントでBBQ、ヨガ教室、ミニオペラコンサートを開催しました。初めての親子イベントを開催したため、あまり保護者様に周知できず、参加率もあまり良くありませんでした。保護者会の様な親だけの会はまだまだなく、親子イベントで保護者様の参加率が上がれば開催も考えています。	少しずつ参加率も上がっている為、親子で参加できそうなイベントを考えながら、BBQなど毎年開催して保護者様に周知していきます。
3	放課後児クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	平日だと時間が限られている為、難しいです。祝日は殆どの放課後児童クラブや児童館がお休みで関われる機会がないです。	来年度に2号店をオープンに向けて動いています。2号店と交流を増やせたらなと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ココからラボ市原八幡教室

公表日 2025年 3月 3日

利用児童数 10名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	8	0	0	0	引っ越しをして広くなったと子供が言っていた。	8月に移転し、前の教室より広くなりました。
	2	7	0	0	1		
	3	8	0	0	0		
	4	8	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	8	0	0	0	送迎の際に話を聞いている。	送迎の際に保護者様と話をしています。
	6	8	0	0	0		
	7	8	0	0	0	面談などで話が出来る。	半年に1回モニタリングを行っております。
	8	8	0	0	0		
	9	8	0	0	0	出来ることが増え、嬉しく思っています。	
	10	8	0	0	0	イベント事も開催されていて、子供も楽しく学んでいる。	月1を目標にイベントを開催しております。
	11	6	0	0	2	ラボとして行っているか知らない。	現在、交流などは行っていません。来年度には2号店をオープン予定ですので、交流を行いたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	8	0	0	0		
	13	8	0	0	0		
	14	7	0	1	0	参加の可否の確認をされている。	
	15	8	0	0	0	送迎時の会話で話が出来ている。	
	16	8	0	0	0		
	17	8	0	0	0	いつも笑顔で明るく素晴らしいと思います。	
	18	4	0	1	3		父母の会はありますが、親子イベントを開催しています。まだ回数は少ないですが、少しずつ増やしていきます。
	19	8	0	0	0	いつも感謝している。子供の事をよく見てくれている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	0	避難訓練をしていると子供が言っていた。	2.3か月に1度、集団プログラムとして避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0	契約時にも説明を受けている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0	契約時にも説明を受けている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	子ども園より楽しそうにしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1	0	0	ダメなことはダメだと注意され、色々な年齢の子供たちいる中で、それでも「楽しい」「ラボに行きたい」と言っているので、本当にしっかりと子供たちを見て、交流して頂いているのだと思う。感謝している。	子供たちが楽しいと思って通える環境を作っています。それでも、ダメな事した場合は注意をし、メリハリをつけて活動、支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	いつも本当にありがとうございます。ラボの皆さまと出会えて良かったと思っています。	こちらこそありがとうございます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ココからラボ市原八幡教室				公表日	2025年 3月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	8月に移転し、教室が広くなりました。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	5名を基本として、日によっては、アルバイトの方に来てもらっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、支援後に消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個分けの椅子、机があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年1回保護者様に評価表の記入をお願いしています。その結果を職員に周知して改善をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月1でミーティングを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	虐待防止、事故防止、感染症など定期的に研修を行っています。	参加可否は任意だったので、必要な研修は職員全員で参加するように努めます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ラボ便りに掲載したり、HPIにも支援プログラムを掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	月1でミーティングを行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	チームで話し合っ、前月と比べています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	出勤時間にばらつきがあり、出来ていない。変更や特記事項は都度、職員に伝えたり、グループLINEを使用しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	退勤時間にばらつきがある為、何かある場合はグループLINEを使用して共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		主に責任者が行っており、直接行っていない職員もいます。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		主に責任者が行っており、直接行っていない職員もいます。
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	×	×		
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	×	×		
30		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	×	×		
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に共有するようにしています。	
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		
35		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様から相談事などがありましたら、職員間で共有し、主に責任者が対応します。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			